



第22回包装技術セミナー

新しい包装環境を学ぶ



日 時 平成24年11月13日(火)

13:00~17:00(受付12:40~)

会 場 日本教育会館 707号室

主 催 : 日本包装専士会

後 援 : (公社)日本包装技術協会(JPI)

協 賛 : 日本包装管理士会

★ セミナーのご案内 ★

日本包装専士会は、包装技術者の研鑽と懇親を目的として、研修会やセミナーの開催、コース研修会実施等の活動を行っています。この包装技術セミナーは、国内外の激しい社会情勢の変化に柔軟な対応をすべく課題の共有化とコミュニケーションを図り、包装技術に携わる方々に広く公開して共に学習しようとの趣旨で毎年開催しています。

昨年の東日本大震災では、包装に携わる多くの企業が被災し、その中で懸命に生産体制、流通体制を復旧して来ました。またその後の救援活動の中で、包装が果たす役割について改めて考え直す機会でもありました。

このような状況下、今回のセミナーは『新しい包装環境を学ぶ』と題し、包装安全に関する技術、食品包装材料の新たな展開、医薬包装への新規表示方法理解について3人の専門家をお招きし、最新の情報紹介や包装人への提言を戴くことと致しました。

本セミナーは、包装業界の枠にとらわれず、他の分野の方々にもオープンな雰囲気で開催できるように企画しています。交流会も含め関係者各位の積極的な参加をお待ちしております。

日本包装専士会 セミナー・キャンパス委員会

★ プ ロ グ ラ ム ★

時 間	テ ー マ ・ 講 師
13:00~13:05	会長挨拶 日本包装専士会会長 伊藤 浩明
13:05~14:15	<p>【放射線による容器殺菌技術と放射線の理解】</p> <p>講 師 株式会社コーガアイソトープ 営業部長 廣庭 隆行 氏</p> <p>食品、医薬品包装容器には様々な殺菌技術が応用され、衛生性が保たれている。9月の加熱による食品包装容器殺菌の講演に続き、今回は放射線による殺菌技術についての知識を学ぶ。他の殺菌方法に対して放射線による殺菌はどのような特徴が有るのか、どのような装置で実施されるのか、安全性についてはどうか等の解説を頂く。特に、安全性については、原発事故以来、放射能に対する関心が一般の方々を含め非常に高まっている。包装人として、産業に应用されているものを含め、放射線に対する正確な知識を得ると共に、最新の技術紹介を頂く。</p>
10 分	休 憩
14:25~15:35	<p>【食品用器具及び容器包装における再生プラスチック材料の使用に関するガイドライン】について</p> <p>講 師 日本包装専士会 顧問 (前会長) 西 秀樹 氏</p> <p>食品用再生プラスチックに関しては、現在ケミカルリサイクルのみが認可されているが、本年4月末に厚生労働省から食品安全部長信が出され、マテリアルリサイクルが事実上解禁となった。欧米では既に個別承認制度により工業化されているが、日本においても欧米と類似の承認制度が導入されることとなった。この審議においては、再生プラスチックの安全性を如何に確保するかが大きな論点となり、約十年間のモデル試験結果等を基に、欧米と同じ毒性学的閾値が適合性の判断に採用された。本制度は、回収容器の中国流出等が問題となっているプラスチック再生事業にとっては、大きな推進力となることが予想される。本ガイドラインの経緯、欧米の状況、安全性確保の考え方（閾値の導入）、及び現時点におけるQ&Aに関しご紹介する。</p>
10 分	休 憩
15:45~16:55	<p>【医療用医薬品の新コード表示の完全実施に向けて】</p> <p>講 師 日本製薬団体連合会 安全性委員会 安全使用対策検討部会長 大澤 総弘 氏</p> <p>医薬品の取り違い防止対策の一施策、すなわち、医療関係者の確認を支援する為のIT技術を利用した手法として導入された新バーコード表示は、平成18年9月の厚労省通知により実施されているが、今般発出された通知により、平成27年7月から体外診断用医薬品を除く、全ての医療用医薬品に新コード表示が完全実施されることとなった。この背景と経緯を振り返り、今般新たに表示を実施することとなったPTPシート、分包品等の調剤包装容器への表示ルール等、その考え方・留意点、その後の対応課題等について解説する。</p>
16:55~17:00	実行委員長挨拶 日本包装専士会副会長 筒井 直樹
17:30~19:30	交 流 会

※1:受付は 12:40 より開始します。

※2:閉会后直ちに交流会会場に移動します。

★ 開催要領 ★

- 日時** 平成24年11月13日(火) セミナー 13:00 ~ 17:00
交流会 17:30 ~ 19:30
- 会場** 日本教育会館 707号室
東京都千代田区一ツ橋2-6-2 電話 03-3230-2831(代表)
交通 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線
神保町駅 出口A1
- 対象** 日本包装専士会会員、日本包装技術協会加盟会社社員、JPI関連団体会員
2012年度包装アカデミー受講生
*本テーマに興味をお持ちの方なら、上記以外のどなたでも参加できます。
- 受講料**
- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 日本包装専士会会員、2012年度包装アカデミー受講生 | 8,000円 (11,000円) |
| 日本包装技術協会加盟会社社員 | 9,000円 (12,000円) |
| JPI関連団体会員 | 9,000円 (12,000円) |
| 上記以外の方 | 10,000円 (13,000円) |
- ()内は交流会参加の場合
- 定員** 80名(先着順)
- 応募締切** 平成24年11月9日(金)
- 申し込み方法** 次の方法でお申し込み下さい。(次面参加申込書もご使用下さい)
① 日本包装専士会ホームページ(URL) <http://www.housou-senshikai.jp/>
② E-Mail masabumi_shima@toyo-seikan.co.jp (包装技術セミナー係 嶋 雅文)
③ Fax (03)3280-8118 (包装技術セミナー係 嶋 雅文 TEL(03)4514-2013)
- 支払い方法** 次の方法でお支払い下さい。(なるべく①の方法でお願い致します)
① 銀行振り込み
銀行名 三井住友銀行 東京中央支店 (店番号 015)
口座番号 (普通)3173326
口座名 日本包装専士会
② 当日受付 受付で領収書と引き換えに現金にてお支払い下さい。
- 交流会** セミナー終了後、講師を囲んで交流会を開催致します(参加費 3,000円)

ご参加の方々へ

《 お断り 》

1. テキストは会場でお渡しします。
2. 参加者以外の方にはテキストはお渡しできません。
3. 受講料の払い戻しは致しません。
4. 申し込まれた方がご都合の悪い場合は代理の方の受講は差し支えありません。

《 領収書 》

領収書は、当日受付にて講演資料と合わせてお渡しします。
尚、請求書が必要な方は上記申し込み方法②又は③で申し込みの上、
その旨をお書き添え下さい。

会場案内



■交通機関のご案内
東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線
/ 神保町駅 (出口A1)



第22回 包装技術セミナー 参加申込書

包装技術セミナー係 嶋 雅文 宛 申込日 平成24年 月 日

貴社名			
所在地	〒		
* 区分	(1、2、3でご記入下さい) 1. 日本包装専士会会員、2012年度包装アカデミー受講生 2. 日本包装技術協会加盟会社社員・JPI関連団体会員 3. 上記以外の方		
受講者名	所属・役職名	* 区分	交流会
			出・欠
			出・欠
			出・欠
ご連絡先	TEL:	FAX:	
	E-Mail:		
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (お振込予定日 月 日)		<input type="checkbox"/> 当日受付
参加料: 名分 円 下記の銀行に振込みます。			
三井住友銀行 東京中央支店(店番号015) 口座番号(普通)3173326 名 義 : 日本包装専士会			
受領日 **	月 日	金額 **	円 受付 No **

** 部分は、記入しないで下さい。

※ 振込口座は包装専士会会費の口座とは異なりますのでご注意ください。